

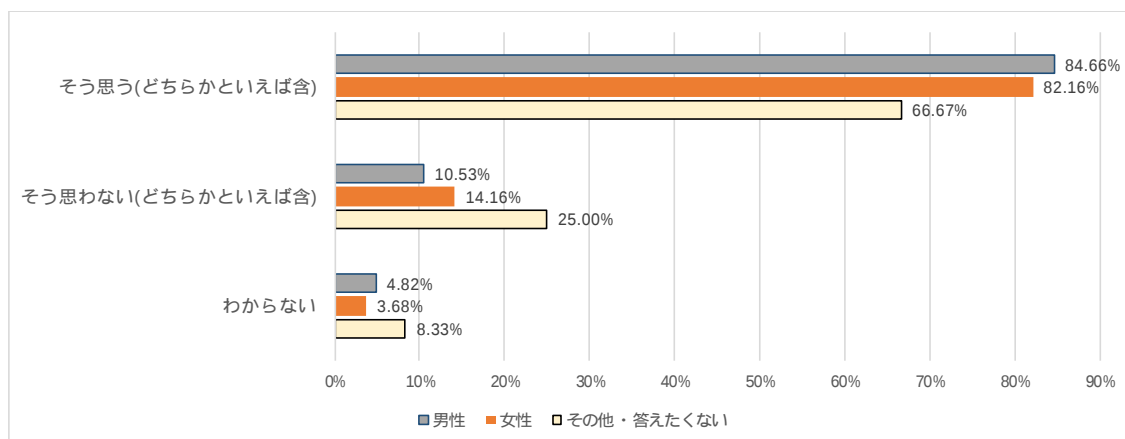
令和元年度実施 学校園(本務・臨任・再任用) 非常勤は除く 回答者 2127名

アンケートの結果における割合については、端数処理等の都合上、合計値が100%にならない場合があります。

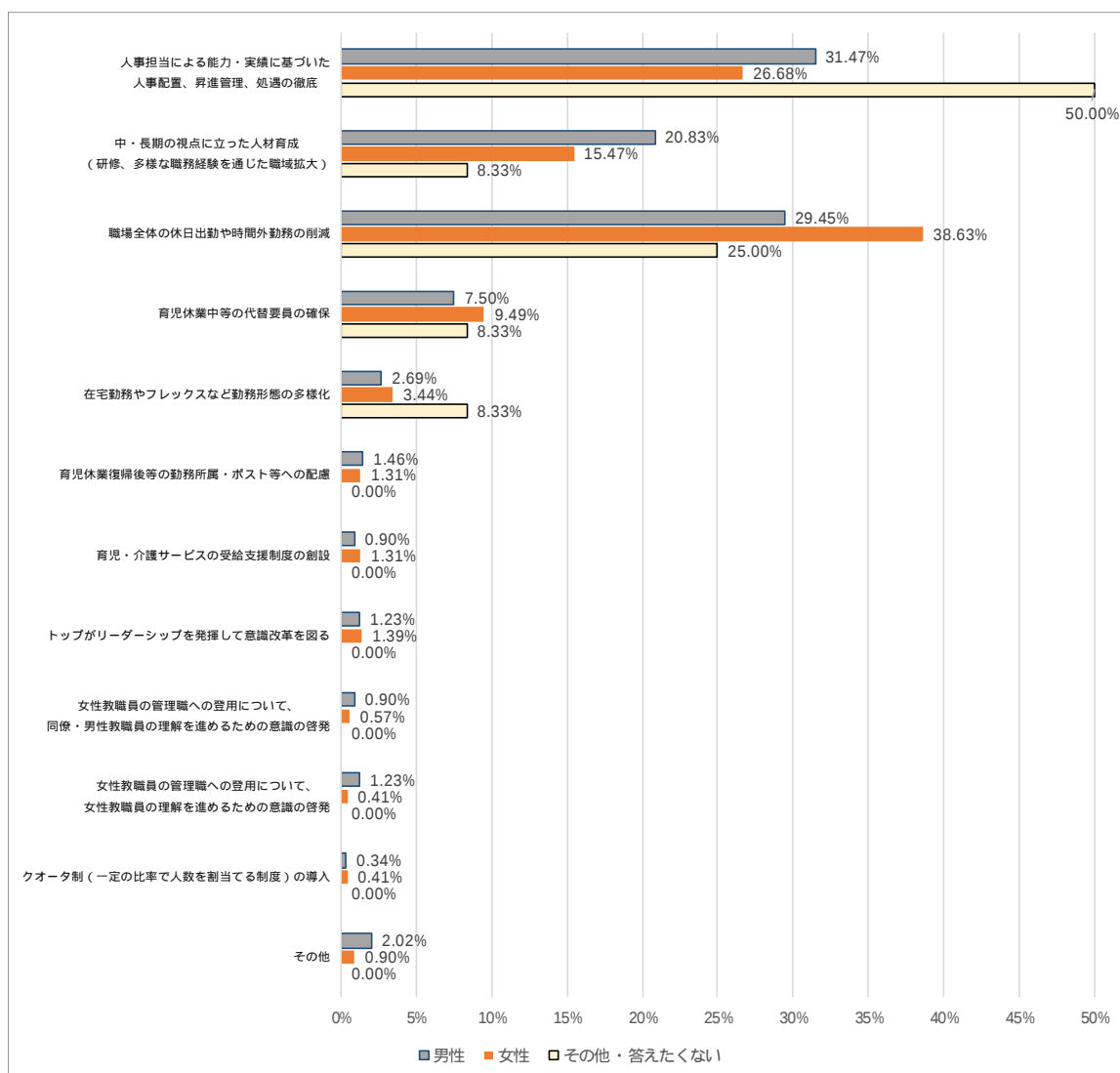
アンケートの 回答者の属性	性別	男性	893	42.0%
		女性	1,222	57.5%
		その他・答えたくない	12	0.5%
	年齢層	24歳以下	89	4.2%
		25歳～29歳	279	13.1%
		30歳～34歳	254	11.9%
		35歳～39歳	317	14.9%
		40歳以上	1,188	55.9%
	職種	教育職	1,798	84.5%
		行政職（事務主幹・事務長・事務主任・学校事務職員・事業担当主事）	291	13.7%
		技能労務職（管理作業員・給食調理員・事業担当主事補）	38	1.8%
	職位	副校長・教頭	196	9.2%
		事務主任・事務長	60	2.8%
		事務主幹・事務主任・事務長以外の事務職員及び事業担当主事	218	10.2%
		事務主幹	10	0.5%
		校長・園長・副校長・教頭以外の教員	1,421	66.8%
		校長・園長	177	8.3%
		業務主任	8	0.4%
		技能統括主任・業務監理主任・業務主任以外の技能労務職員及び事業担当主事補	37	1.8%
	子ども	19歳以上の子どもがいる（同居・別居を問わず）	460	21.6%
		子どもはいない	927	43.6%
		小学校4年生以上18歳までの子どもがいる	247	11.6%
		小学校低学年（3年生）までの子どもがいる	126	5.9%
		未就学の子どもがいる	367	17.3%

1. 女性の活躍について

(1) あなた自身、あるいは、あなたの身近にいる女性は総じて、仕事で活躍していると思いますか？

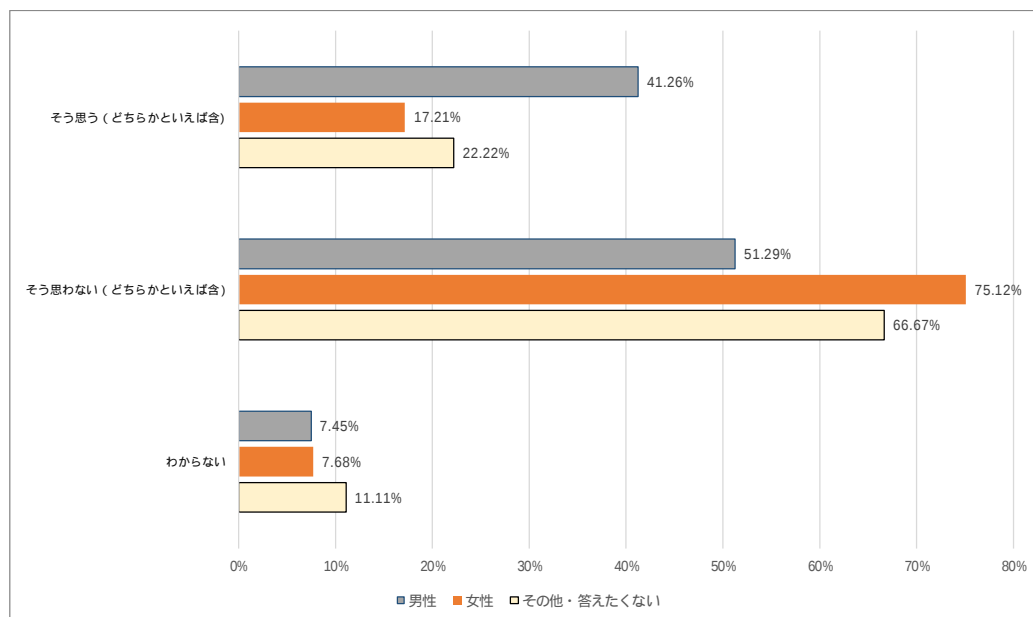


(2) 今後、女性職員の管理職への登用について、優先的に取り組むべきことは何だと思われますか？

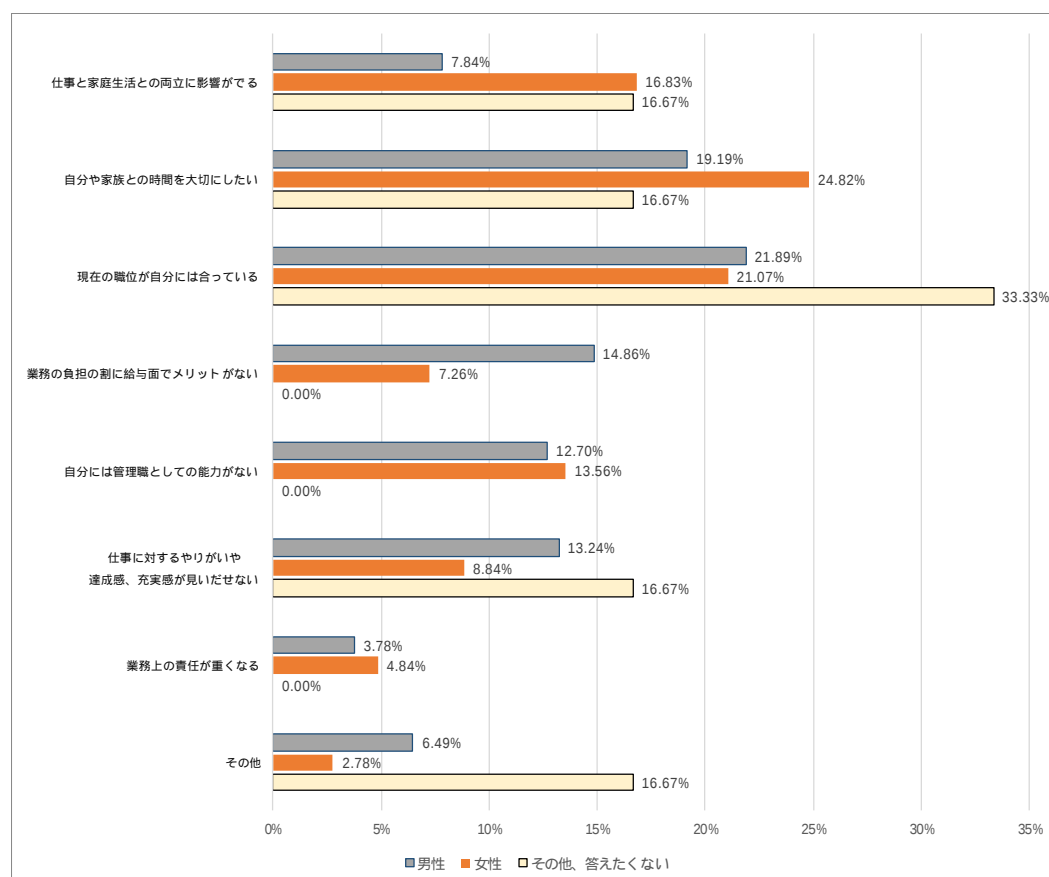


２．キャリアについて

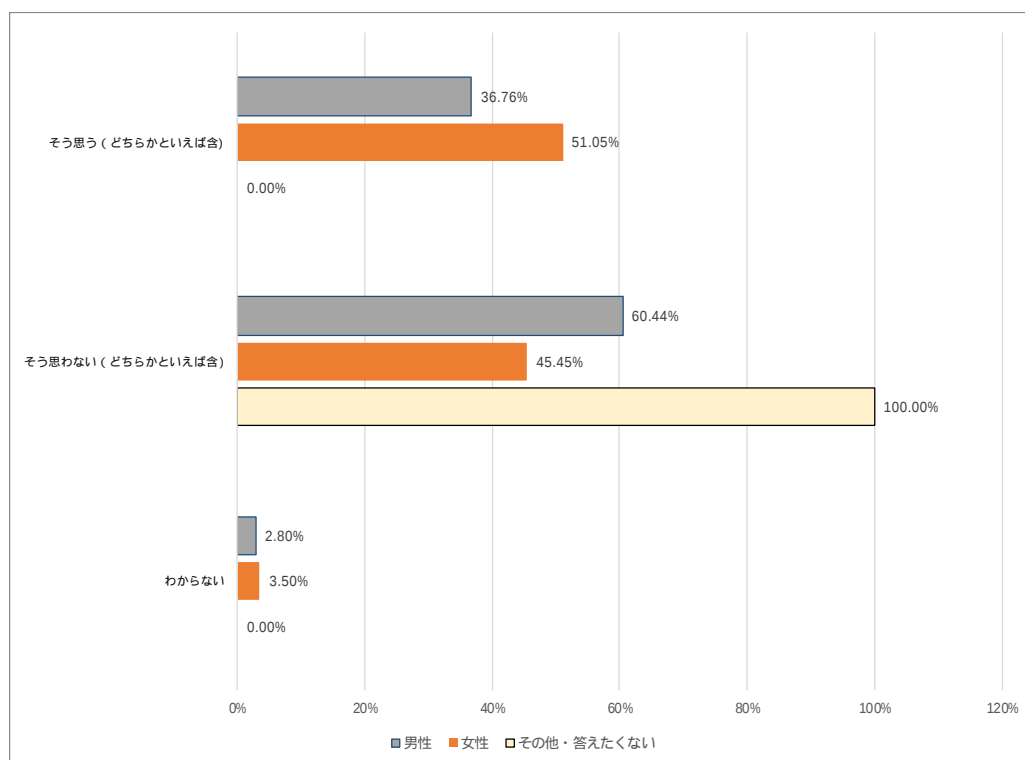
(１) あなたは現在の職位より上位の職位につきたいと思われますか？ 最も近いものを１つ選んでください。



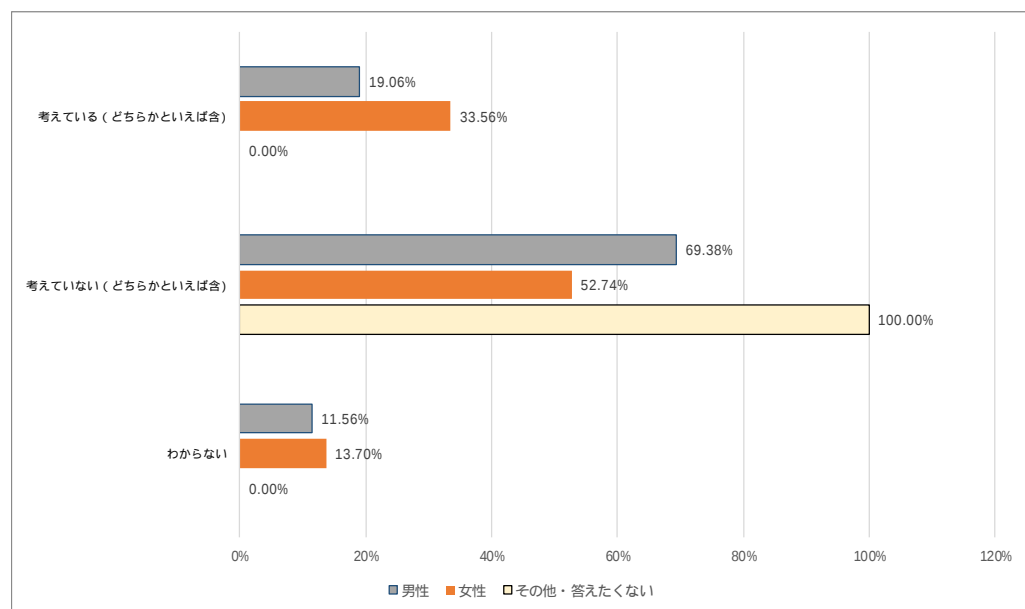
(２) (１)の設問に対し、「３．どちらかといえばそう思わない」・「４．そう思わない」と答えた方にお尋ねします。そう思う理由は何ですか？



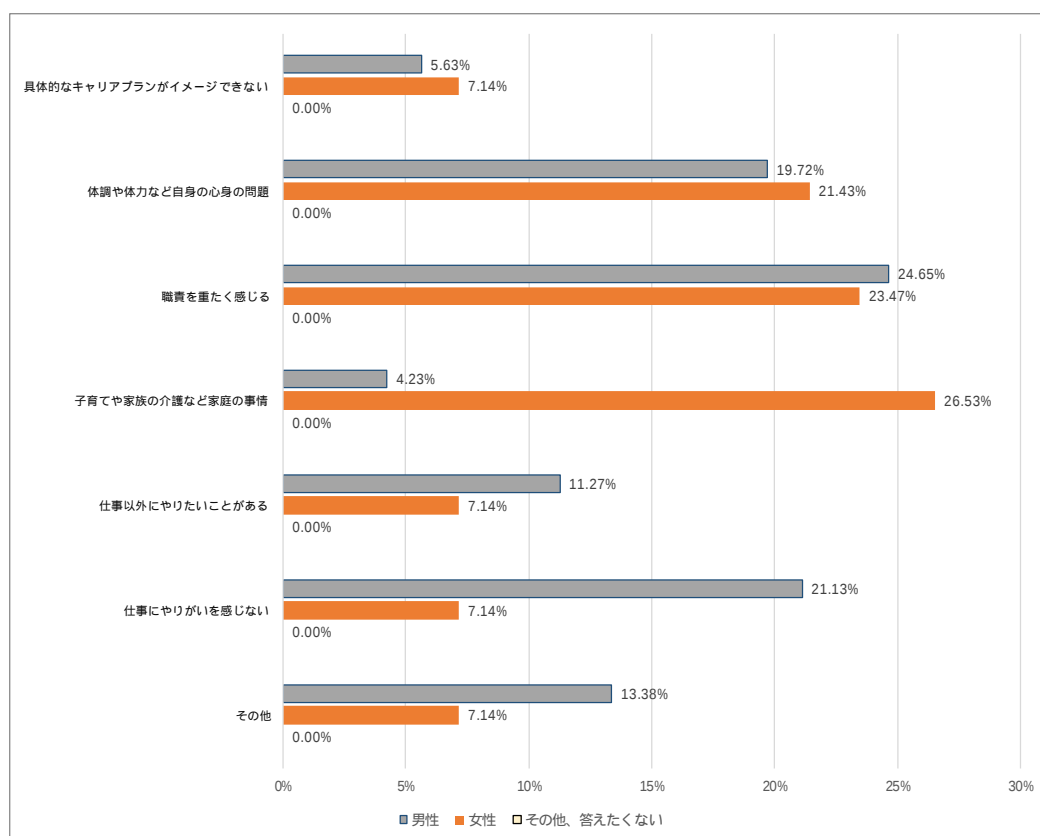
(3) 管理職の方にお尋ねします。管理職になる前からこれまでに、退職しようと思った経験がありますか？



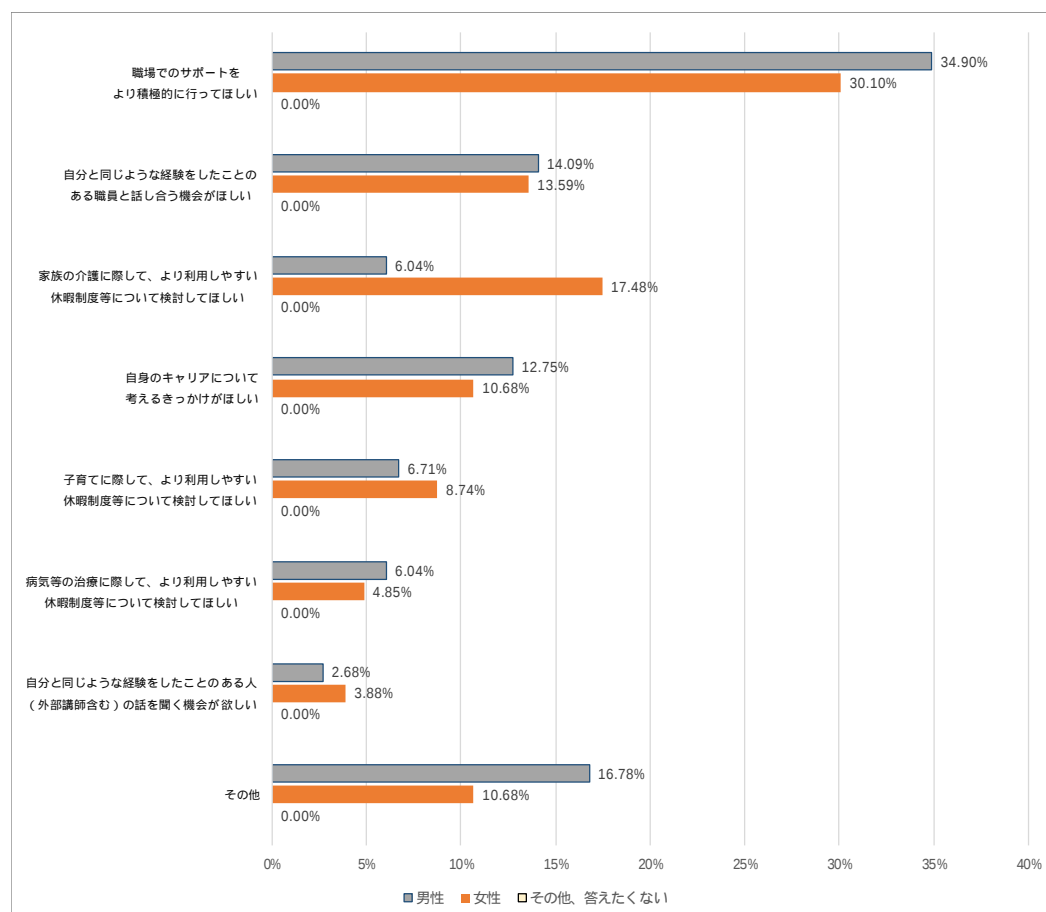
(4) 管理職の方にお尋ねします。将来的に定年退職より前に退職することを考えていますか？



(5) 「退職しようと思った」、もしくは「考えている」理由は何ですか。

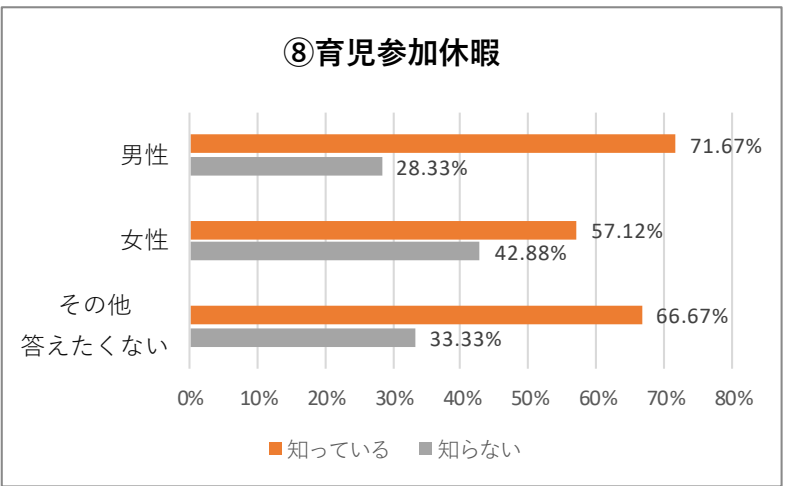
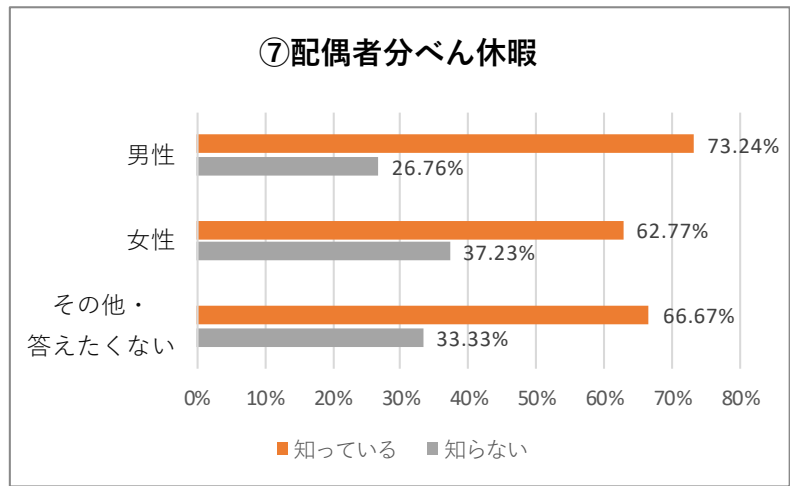
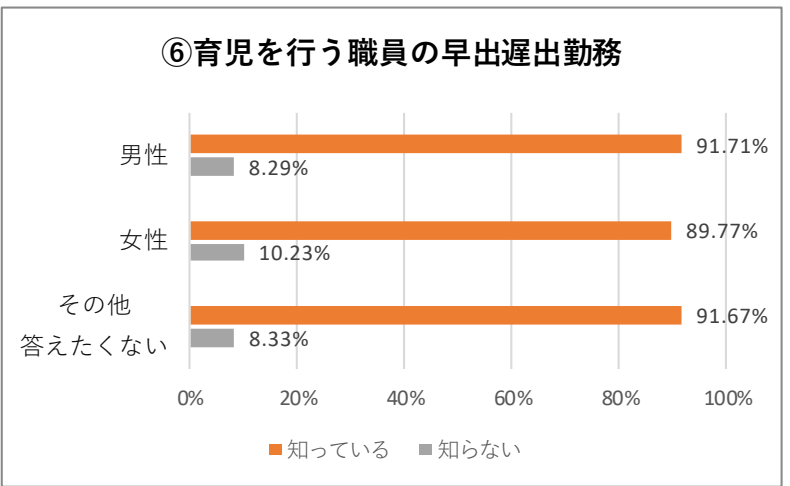
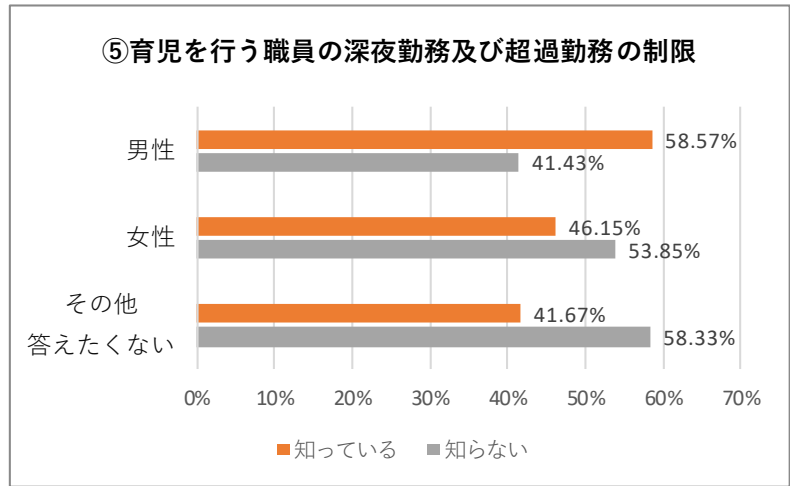
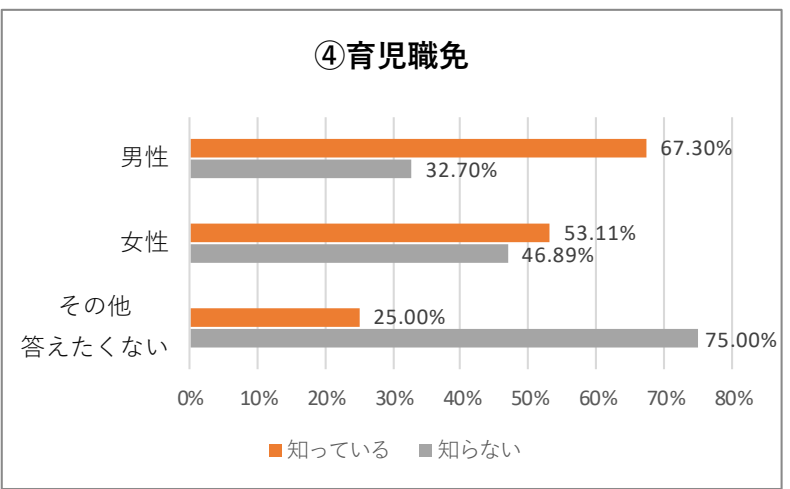
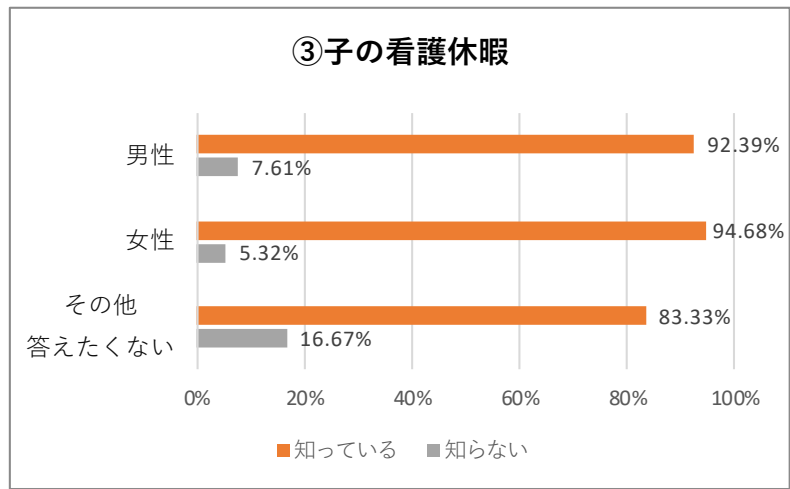
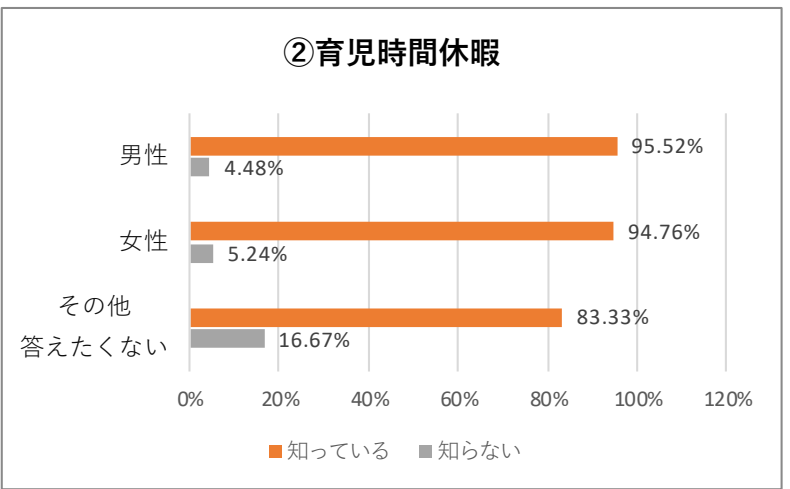
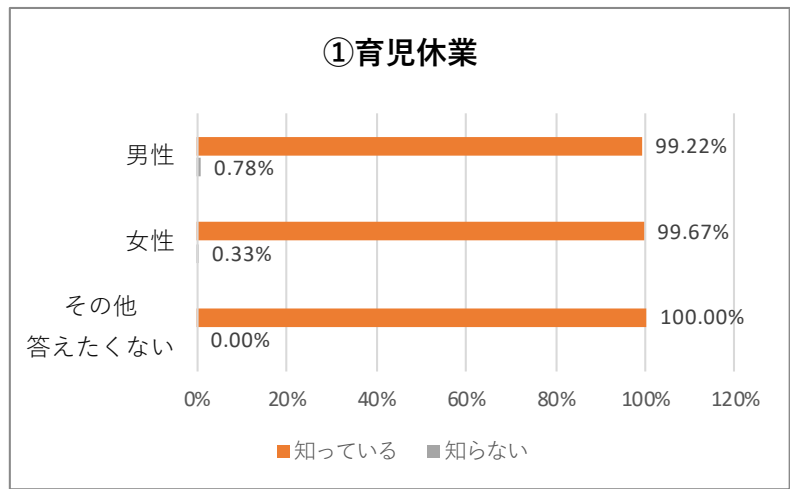


(6) どのような機会やサポートがあれば、定年まで勤務を継続する可能性が高くあると考えますか。

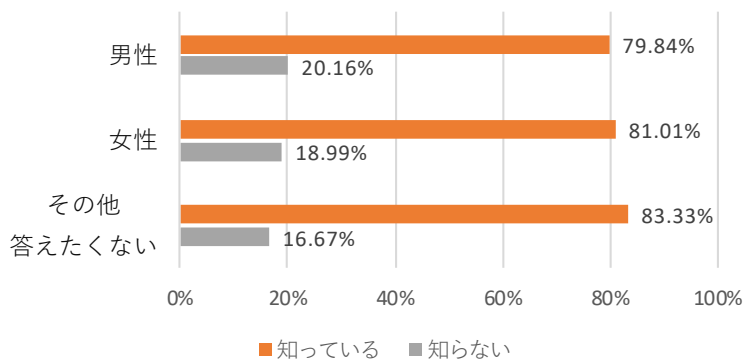


3. 育児と仕事の両立について

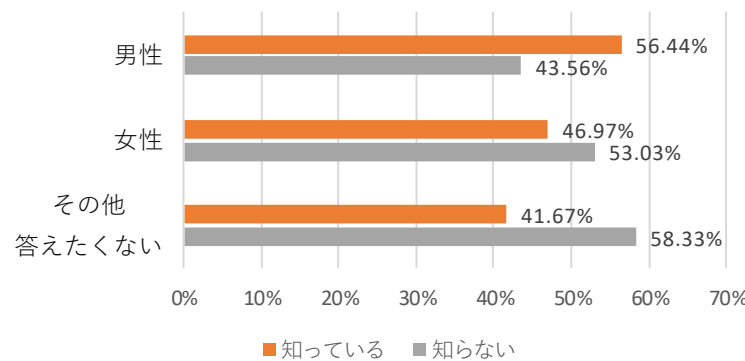
(1) 次の制度があることを知っていますか。



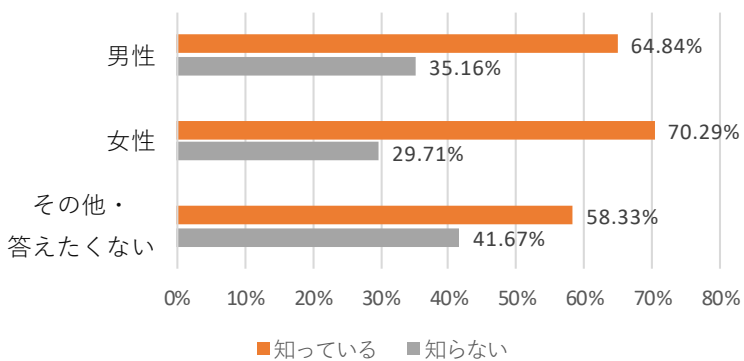
⑨妊娠中の職員の通勤緩和職免



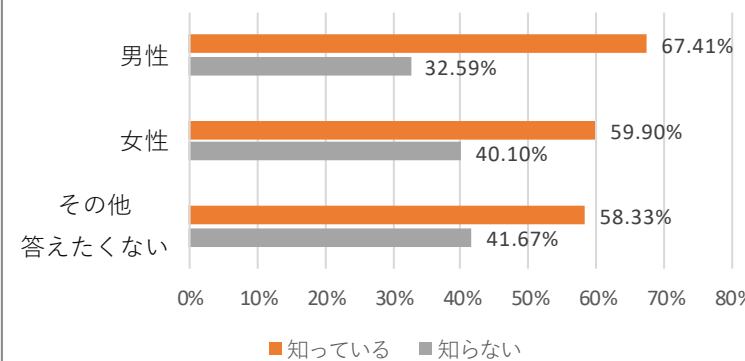
⑩妊娠中の職員の保健指導職免



⑪妊娠障害休暇

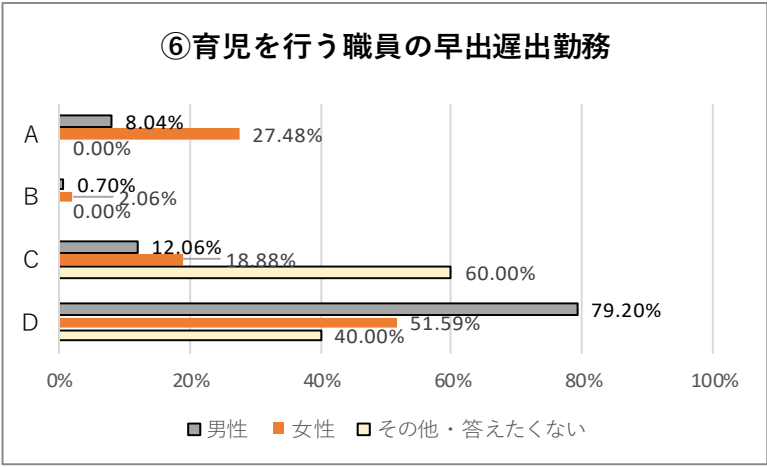
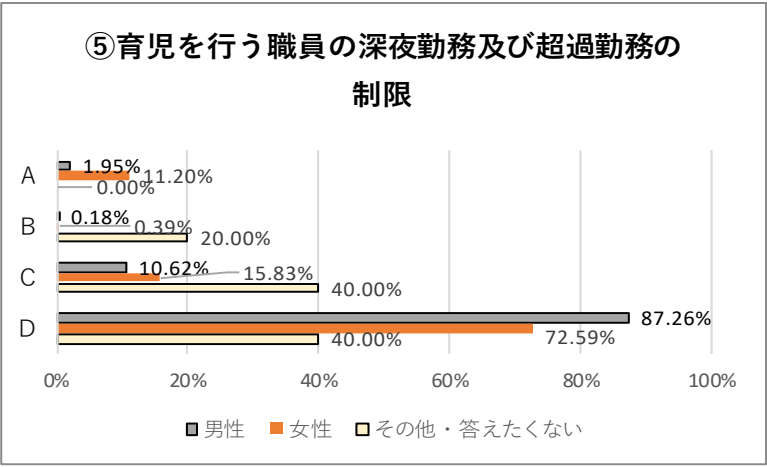
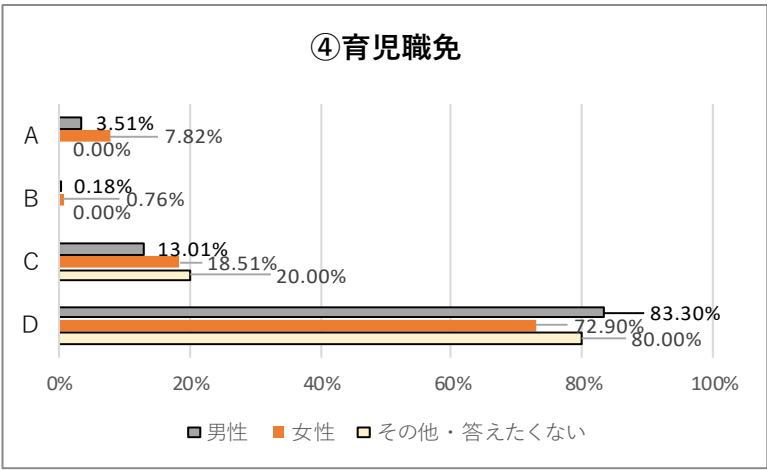
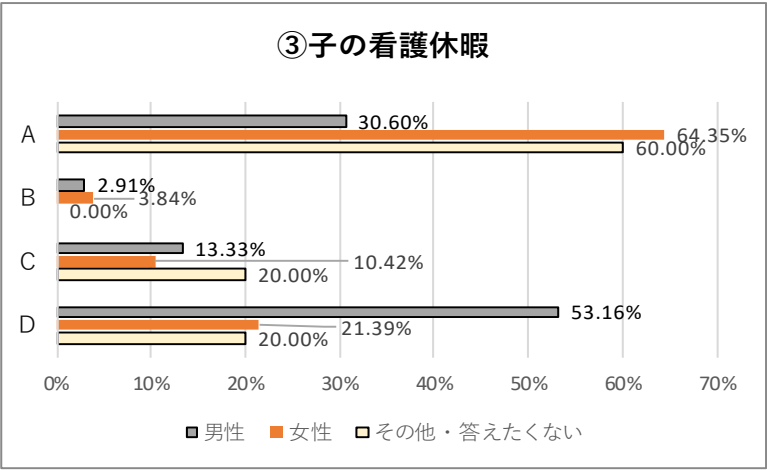
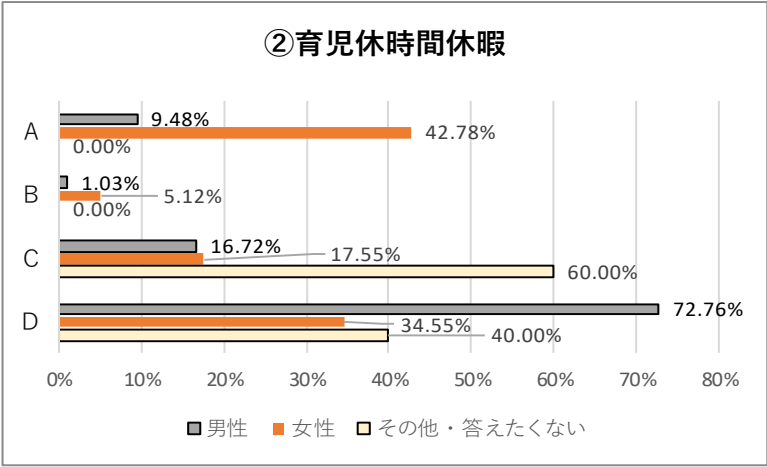
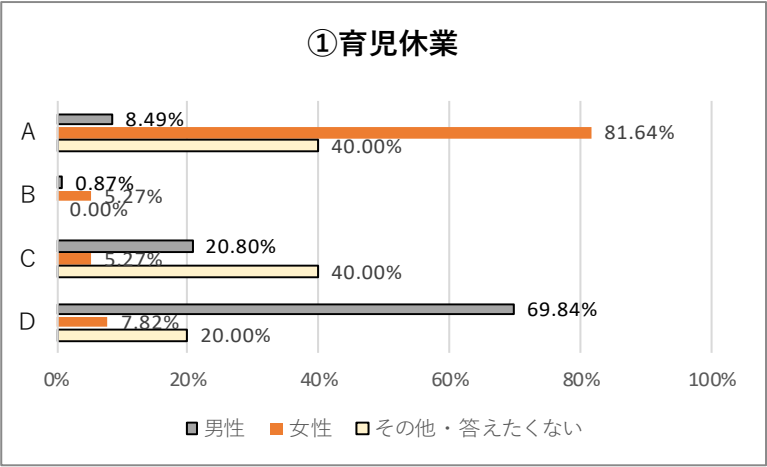


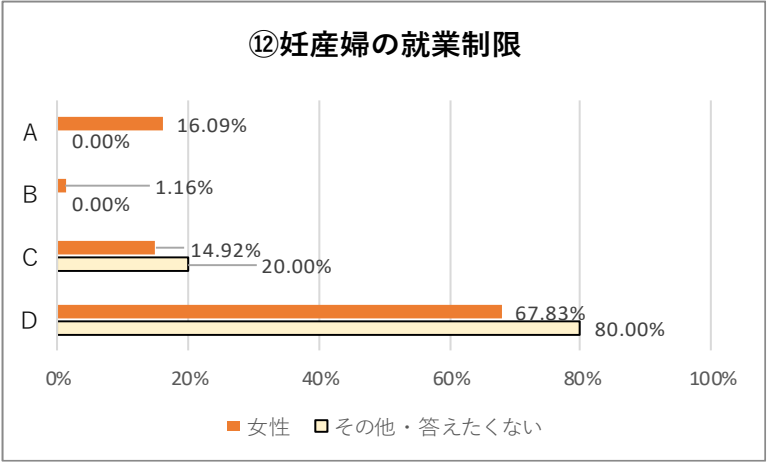
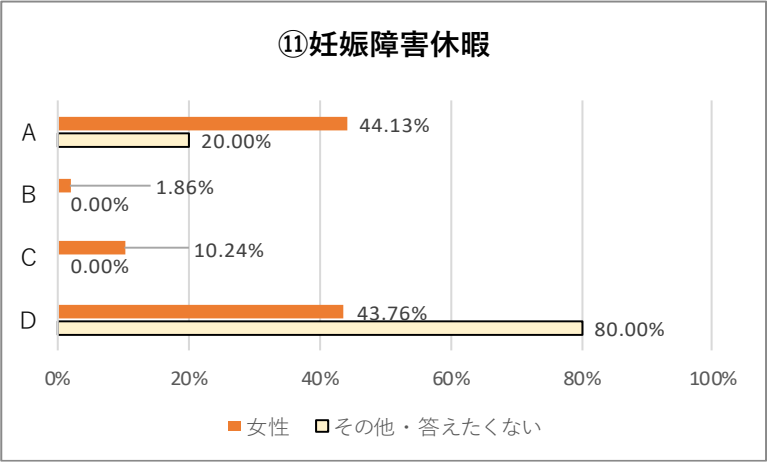
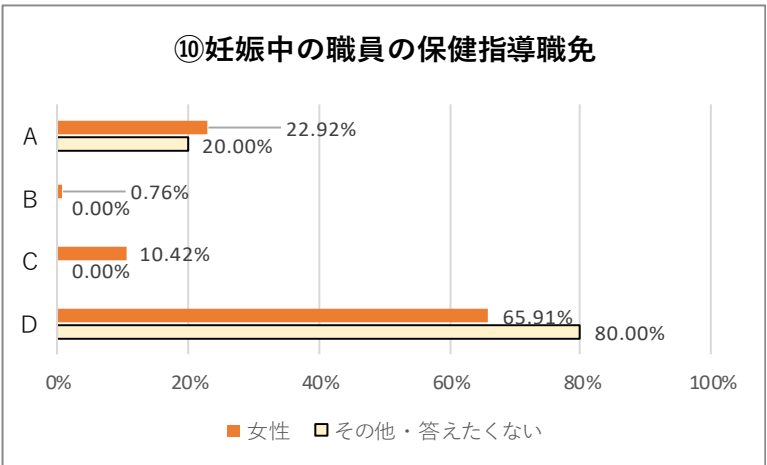
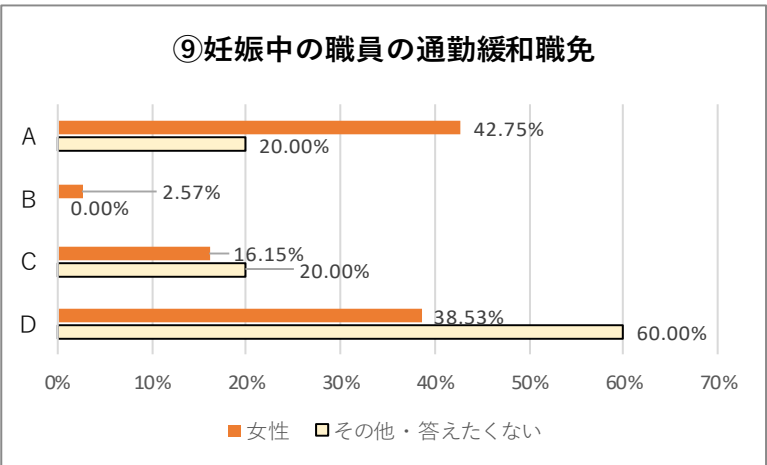
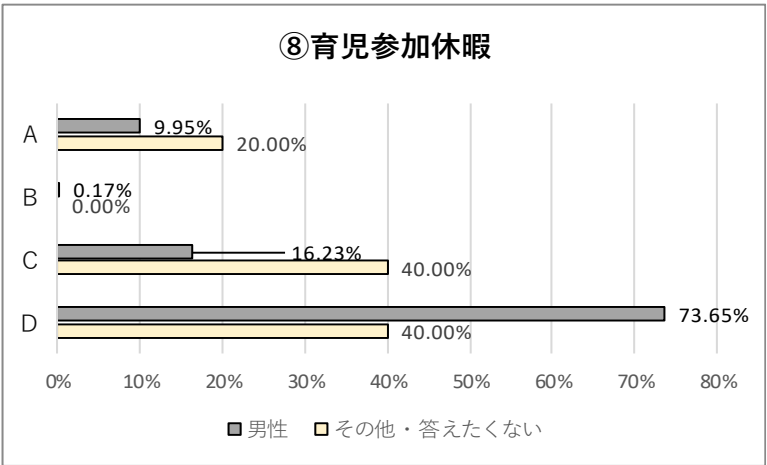
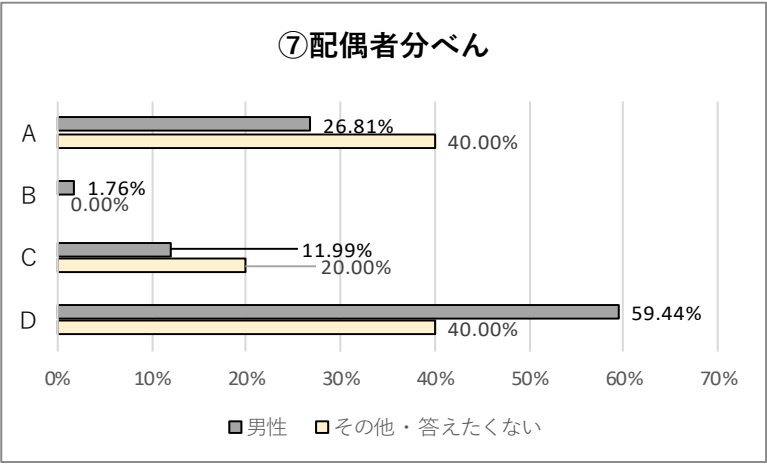
⑫妊産婦の就業制限



（２）子どもがいる方にお尋ねします。次の制度の活用について、A～Dの中から最も近いと思われるものを選んでください。

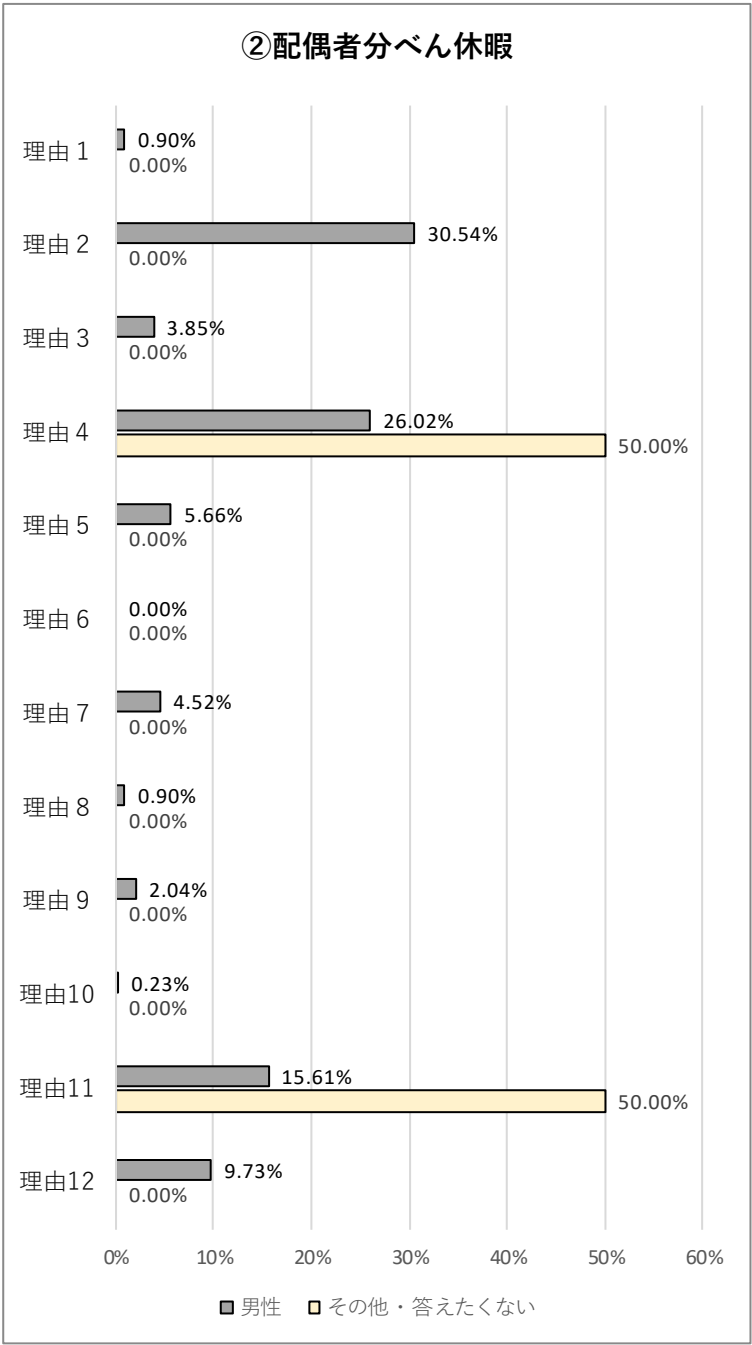
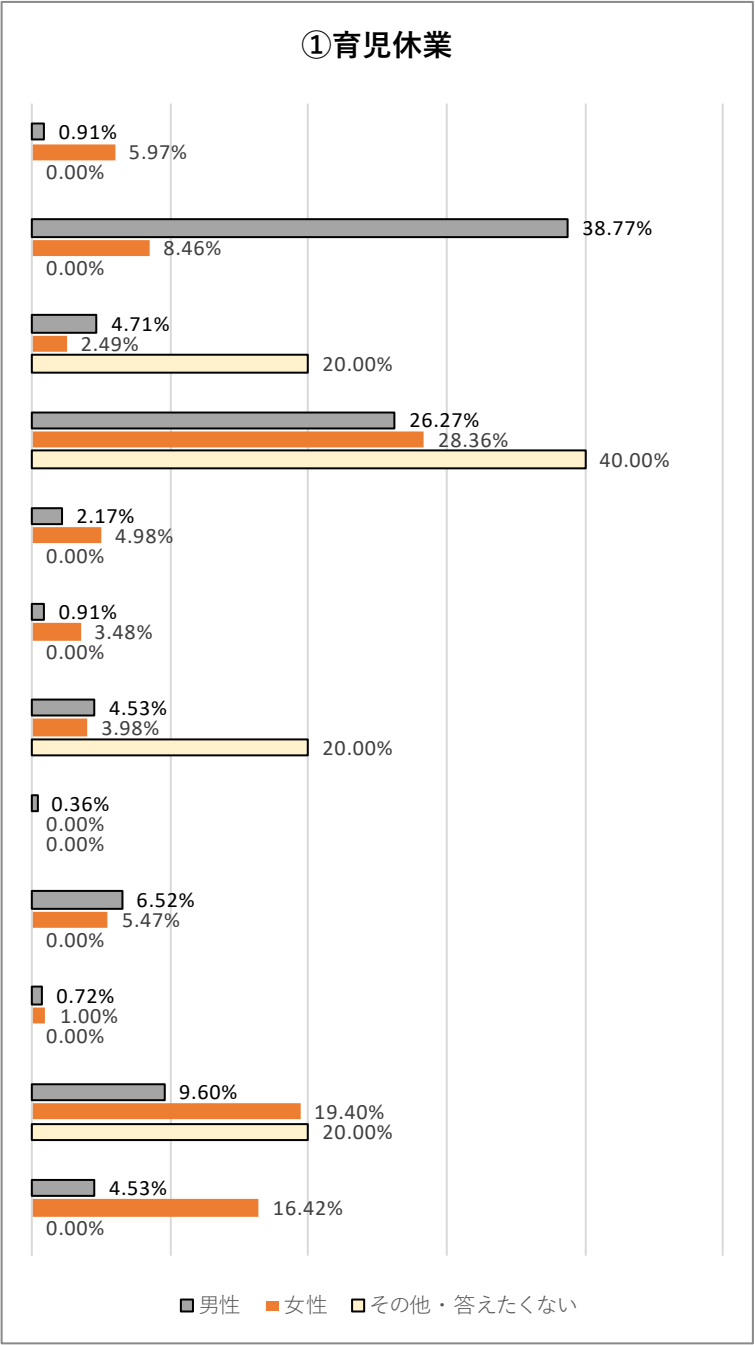
- A：活用した（している、するつもり）
- B：活用したが、希望する期間は取得できなかった
- C：活用したかったが、できなかった
- D：活用しなかった（しないつもり）

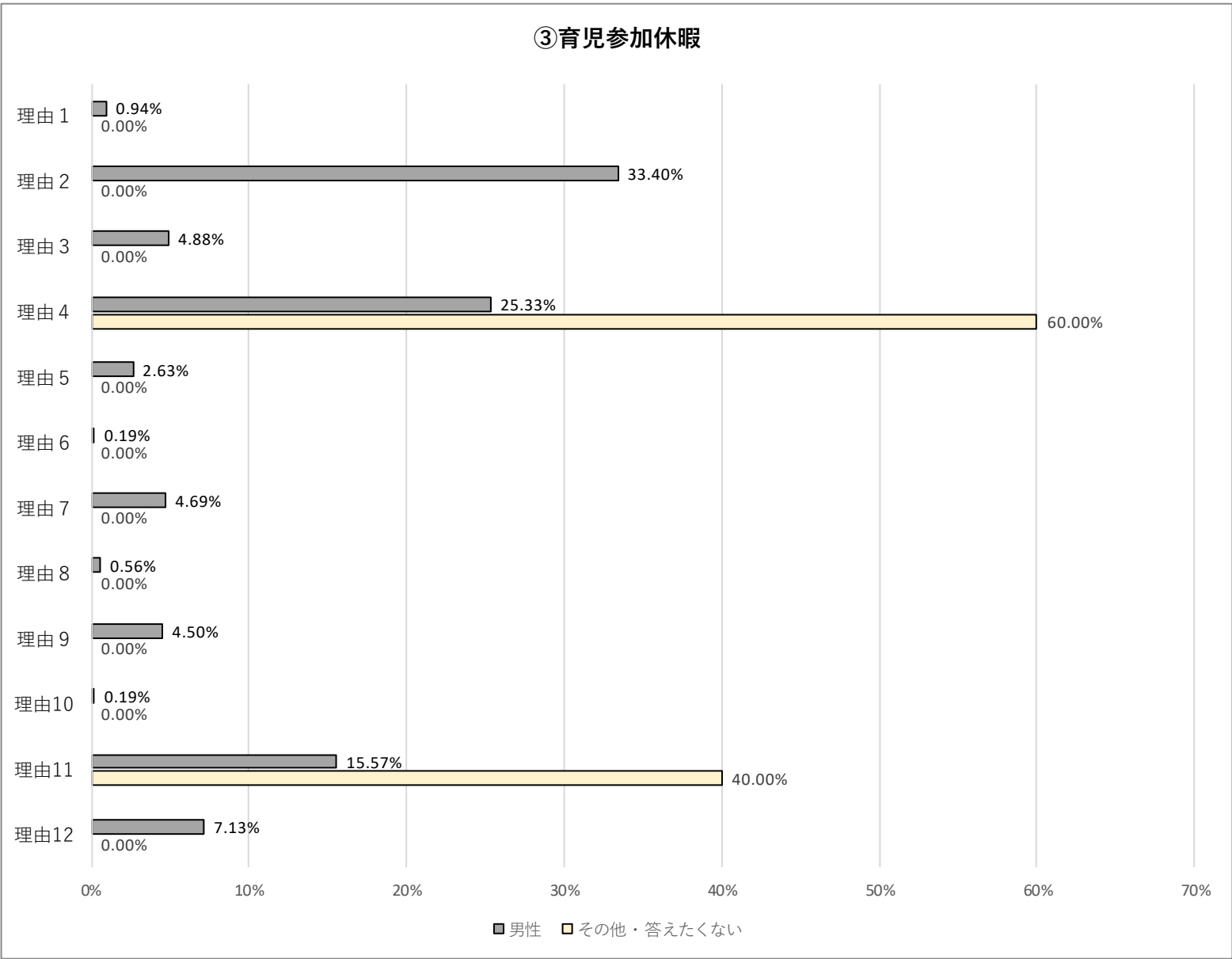




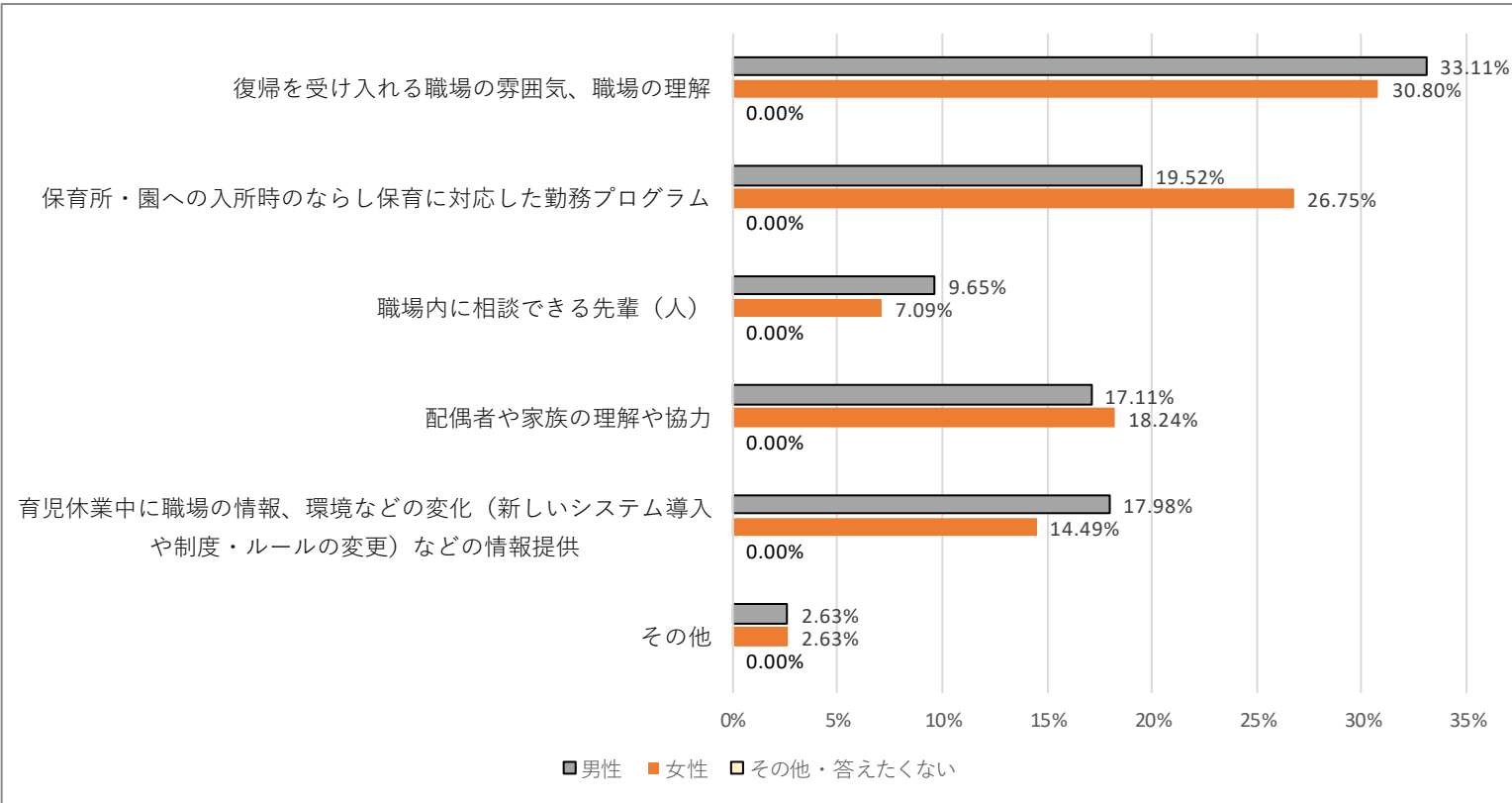
(3) (2)で「育児休業」、「配偶者分べん休暇」、「育児参加休暇」を「B：活用したが、希望する期間は取得できなかった」「C:活用しなかったが、できなかった」と答えた方にお尋ねします。その理由について、最もあてはまるものはどれですか。最も近いものを1つ選んでください。

1. 育児は女性がすべきであり、男性が仕事をして家計を支えるべきと考えた（考えている）
2. 育児をしてくれる配偶者や親等がいるため、取得する必要がなかった。（必要ない）
3. 仕事と育児が十分に両立できると考えた（考えている）
4. 職場に迷惑をかけると思った（思う）
5. 体調や健康面で、特に取得する必要がなかった（必要がない）
6. 復帰後の職場や仕事の変化等に対応できなくなると思った（思っている）
7. 職場が制度を取得しにくい雰囲気であった（である）
8. 育児よりも仕事のほうがやりがいを感じていた（感じている）
9. 減収など経済的な理由で
10. 配偶者や家族から「活用すること」に反対があった
11. 制度がなかった
- その他



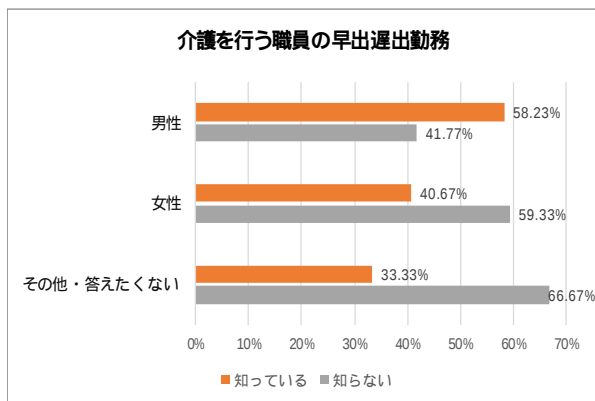
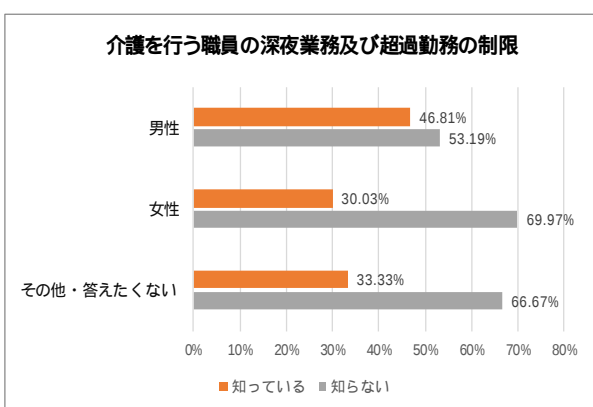
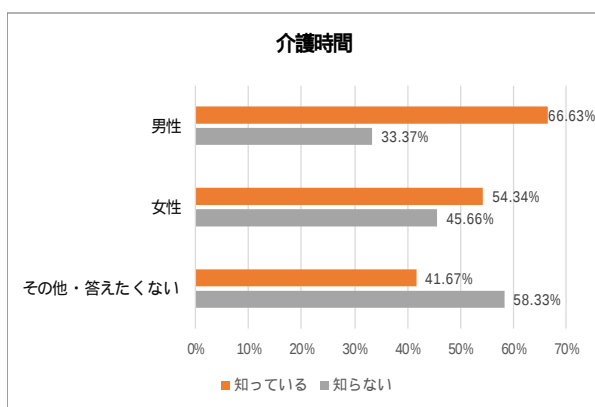
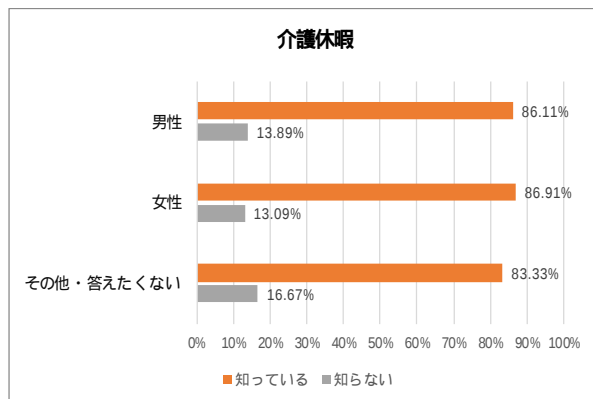
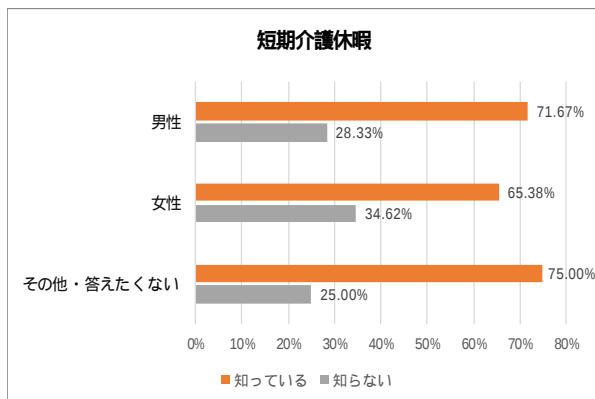


（４）（２）のいずれかの項目で「A:活用した」「B:活用したが希望する期間は取得できなかった」と答えた方にお尋ねします。職場に復帰する時に必要だと思うことは何ですか？ 次の中から3つまで選んでください。



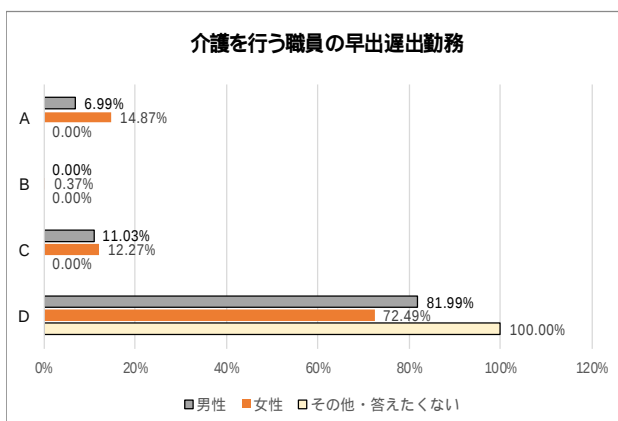
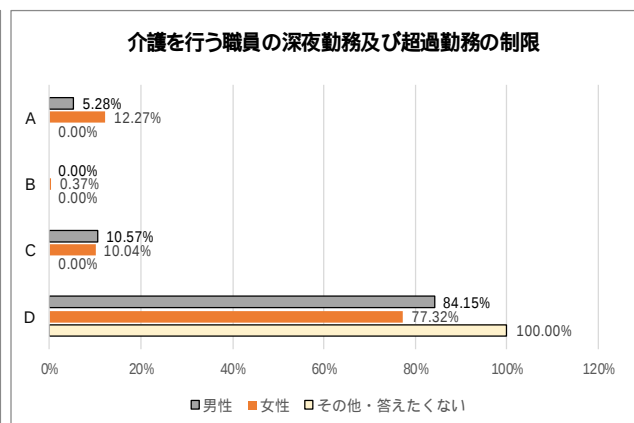
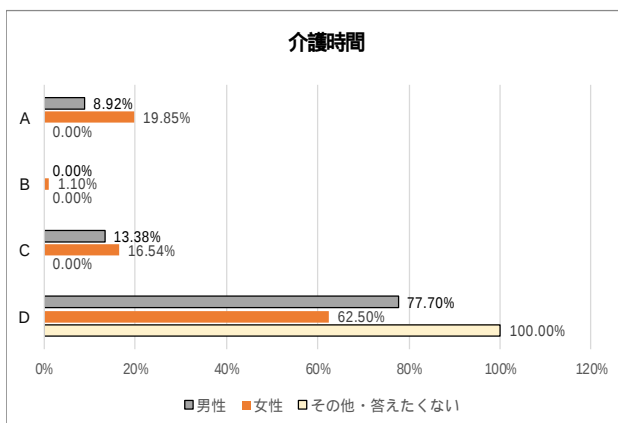
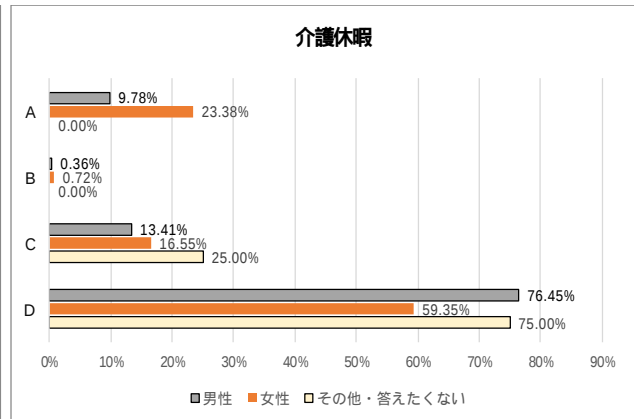
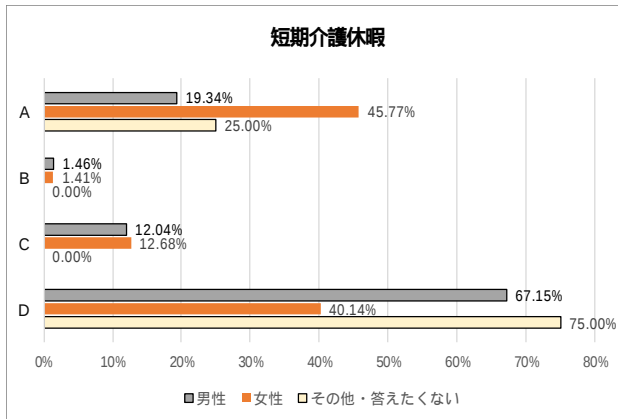
4．介護と仕事の両立について

(1) 次の制度があることを知っていますか。



(2) 「介護中」あるいは「介護の経験がある」方にお尋ねします。次の制度の活用について、A～Dの中から最も近いと思われるものを選んでください。

- A：活用した
B：活用したが、希望する期間は取得できなかった
C：活用したかったが、できなかった
D：活用しなかった



5. その他

全員にお尋ねします。

大阪市立学校に勤務する教職員として、仕事や子育て・介護を両立し、男女が共に働き続けるために、効果的と思われる取組みはどれですか

職種 選択肢	(事・行政職 主事等)	(管・技能労務職 給・主事補等)	教育職	合計
上司の理解	12.5%	18.1%	14.0%	13.9%
同僚の理解	12.0%	21.9%	15.2%	14.8%
配偶者や家族などの理解・協力	7.8%	3.8%	8.9%	8.6%
仕事の分担など、業務分担の方策	16.3%	12.4%	14.4%	14.6%
育児休業・介護休暇等制度についての周知・情報提供	2.0%	4.8%	4.7%	4.3%
育児や介護の経験者の体験談等の情報共有や経験のある先輩職員によるメンター制度	1.2%	0.0%	1.4%	1.3%
円滑に職場復帰できるような研修等の支援	3.2%	3.8%	1.7%	1.9%
定期的に職場状況などを情報提供するなど休業中の職員に対するコミュニケーションの充実	1.6%	1.9%	1.7%	1.7%
固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発	2.7%	4.8%	2.2%	2.3%
だれもがもっと仕事と暮らしのバランスのとれた働き方をする組織風土や職場環境づくり	14.4%	16.2%	13.6%	13.8%
育児休業中の職場の負担軽減（代替職員の確保）	12.5%	2.9%	9.5%	9.8%
男女ともに働き方の見直し	10.5%	7.6%	10.8%	10.7%
その他	3.3%	1.9%	2.0%	2.2%